

# 光素子評価・マルチモードファイバ測定ソリューション

## MS9740A

光スペクトラムアナライザ

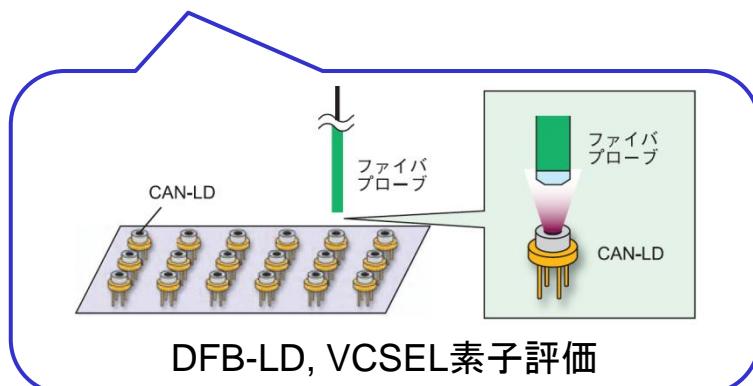
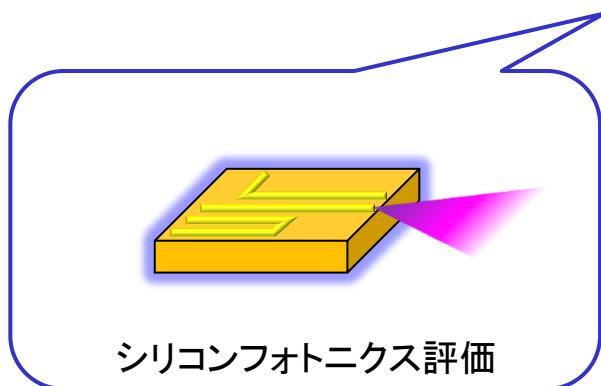
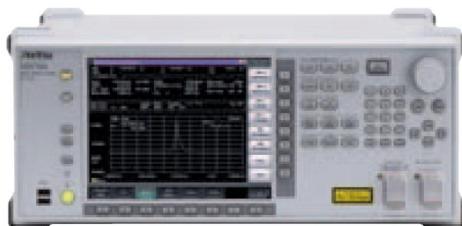
## MS9740A-009

マルチモードファイバ入力(50/62.5 $\mu$ m) オプション

光素子、シリコンフォトニクスなどのファイバプローブを用いた光特性評価では、結合効率や測定系、素子の種類によって、測定環境や測定条件はさまざまです。また、それぞれの測定環境で最も効率の良い測定パフォーマンスが求められます。

MS9740A-009・マルチモードファイバインターフェイスオプションは、入力部にコア径62.5 $\mu$ mのGIファイバを使用。光入力部での反射も抑えることができ、50 $\mu$ mや62.5 $\mu$ mのファイバプローブを用いた測定系で安定なスペクトラム測定を提供します。

また、多様な測定感度設定により、お客様の測定環境に適した測定感度と掃引速度を実現します。



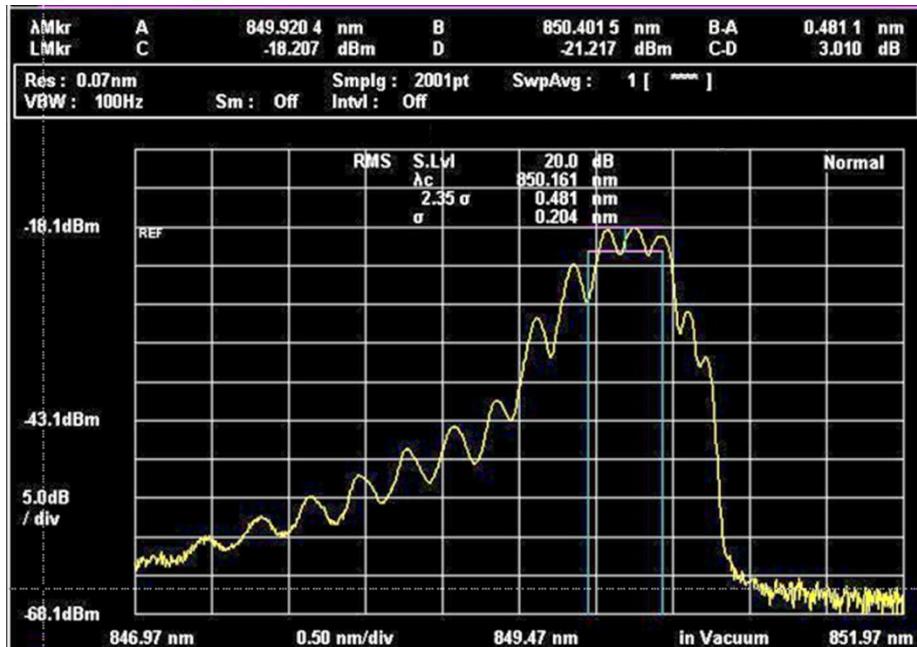
- 光入力有無に関わらず、およそ0.2秒/100nmスパンの高速掃引を実現<sup>\*1</sup>
- 多様な感度設定で効率的な測定速度を提供
- 全波長帯域で高い分解能性能を実現。850nm帯での優れた分解能特性
- 業界唯一、マルチモードファイバ使用時の波長確度を規格化<sup>\*2</sup>
- DFB, VCSEL素子測定に対応した解析メニュー搭載

\*1: VBW10kHz, Sampling point 501設定時において

\*2: 2012年5月現在。ペンチトップタイプ光スペクトラムアナライザにおいて

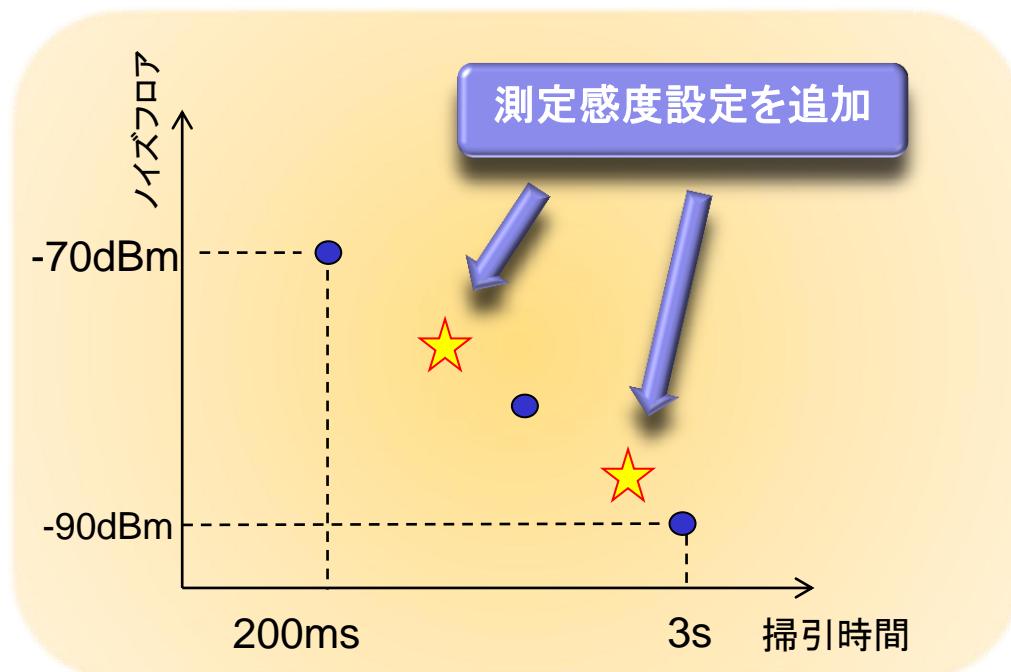
## ■850nm帯での高分解能測定を実現

VCSEL光源のような多モード光源でのスペクトラム幅解析ではRMS測定が推奨されています。そのためには各モードを十分な分解能で識別することが重要です。MS9740Aは850nmでも高い分解能性能を実現していますので、より正確なスペクトラム解析を提供できます。



## ■多様な感度設定で高効率の測定速度を実現

光素子／光デバイスの評価では、結合効率や測定系、素子の種類によって、測定レベル範囲が異なります。MS9740Aは、もっとも使用頻度の高い、ノイズレベルが -70dBm ~ -90dBmの間に新たに2つの感度設定を追加。効率的な測定速度を提供いたします。



※ノイズフロアの値は目安です。